

# 光選択的前立腺蒸散術クリニカルパス

様

病日	入院日(手術前日)	手術日	1病日	2病日(退院日)
日付	/	/	/	/
観察	検温をします  尿の量や色を観察します	手術前に検温をします  ☆手術後、以下のことを観察します  <ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧(6時間毎)、尿量(3時間毎)</li> <li>・下肢の感覚が戻っているか、圧迫でお尻が赤くなってないか</li> <li>・イキミの症状・排尿用の管がしっかり固定されているか</li> <li>・管の脇から尿が漏れないか</li> </ul>	午前中と午後に検温をします  ☆排尿用の管を抜去後以下の項目を観察します <ul style="list-style-type: none"> <li>・排尿間隔(何時間おきに尿がでているか)</li> <li>・残尿感(尿の残った感じ)</li> <li>・残尿量測定(看護師がエコーを使い測定します)</li> <li>・尿の量や色</li> </ul>	
安静	特に制限はありません 	手術後はベッドの上で安静になります 寝返りは可能です。主治医の指示により歩行開始となる時間をお伝えします。 	回診後、安静が解除されます その後は特に制限はありません	特に制限はありません 
食事	普通食がでます  夜9時以降は食事・水分をとることができません。 水分は手術が午後の場合、翌8時まで水分のみ摂取可能です 	食事も飲み物もとることができません。 手術が朝1番の場合、夕方から水分をとることができます 手術後は主治医の指示のもと、飲水食事開始時間について看護師から説明します。 	朝からお食事がでます 	普通食がでます  1日1000mL以上の水分をとるようにしましょう 
保清	入浴できます 		排尿用の管が抜けたら入浴ができます	
排泄	排尿はすべてトイレ内の袋へためてください	手術後は排尿用の管が入ります 排便はベッドの上になります 	安静解除後の排便はトイレでできます 排尿用の管が抜けたら、尿をためてください 排尿用の管が抜けた後、排尿後に膀胱エコーを使用し膀胱残尿量を確認します(排尿後、ナースコールにて看護師を呼んでください)	
診察		医師の回診が8時半頃からあります 		回診後退院となります 
処置	寝る前に下剤を飲みます 	手術前に浣腸をします 手術前に弾性ストッキングを着用してください 手術後、排尿用の管から生理食塩水を流し、出血で管が詰まるのを予防します	回診時排尿用の管を抜きます 腰の管を抜きます	
検査			朝、採血があります 	
薬物療法	今まで服用していた薬は薬剤師に渡してください 	持参した薬は種類によって服用するものもあります 点滴を入れます(点滴は翌日まで持続で入ります) 手術中と手術後に抗生物質の点滴を行います 痛みやイキミの症状があれば坐薬を使用します 	点滴が2本あります(1病日)  腰の管からの薬を止めます(1病日) 持参した内服薬が再開になります 	
説明	手術について説明し、同意書のサインを確認します 入院生活について説明します  入院診療計画書をお渡しします 		退院後の生活について説明します	退院時に次回外来の予約券をお渡しします
目標	1) 入院中の予定がわかる	2) 術後出血が増強しないよう、安静を守ることができる 3) 排尿用の管を挿入中の生活を苦痛なく過ごすことができる	<排尿用の管を抜去後> 4) 退院に向けて排尿パターンが確立できる	5) 退院後のスケジュールがわかる

症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2015年4月作成 (2021年3月改訂) パス委員会 承認聖隷浜松病院 A4病棟